

事業概要シート

施策	2102	開かれた市政の推進と個人情報保護の保護	《》の金額	現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く	
事業名	広報活動事業	現状維持	予算額	43,161 千円 《 41,718 》千円	
事業期間	～		財源内訳	国庫支出金	0 千円
根拠法令要綱等				県支出金	0 千円
				地方債	0 千円
				その他	2,089 千円
			一般財源	41,072 千円	

【事業の目的・概要・対象】

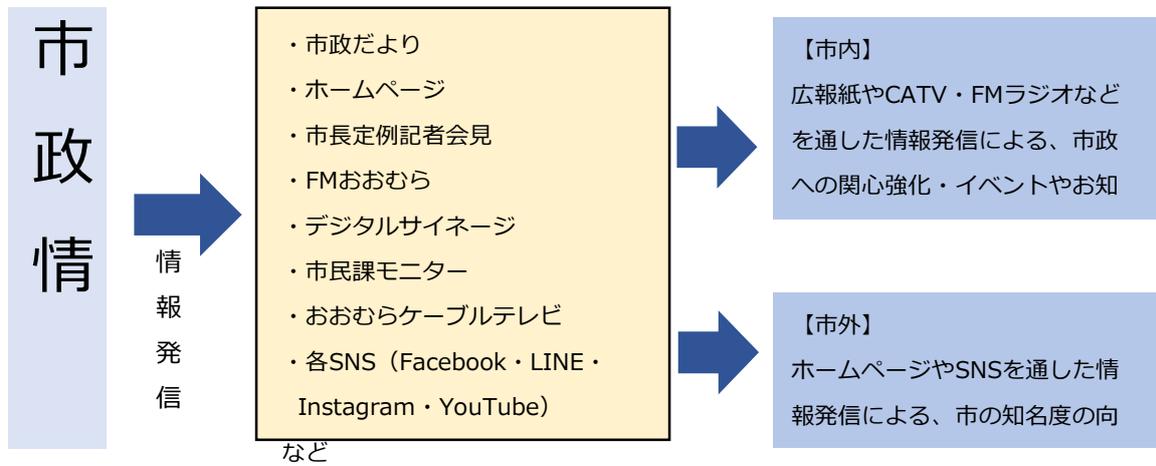
【目的】 各種情報メディアを活用し、市政に関する情報をわかりやすく的確に提供し、市政に関する市民の理解を深め、積極的な市政参加を促進する。

- ① 市政だより「広報おおむら」の発行（月1回）
- ② おおむらケーブルテレビ・FMおおむらへの情報提供
- ③ 報道機関各社への市政情報提供
- ④ 市長定例記者会見の開催（月1回）
- ⑤ 市ホームページや各種SNS等を活用した市政情報発信

[市公式SNSの活用状況] ※フォロワー数等は令和5年8月10日現在

- ・ Facebook（平成25年3月開始）：投稿2～3回／日、フォロワー5,190人
- ・ YouTube（平成28年11月開始）：不定期投稿※ケーブルテレビ番組は月2回、登録者数1,940人
- ・ Instagram（平成29年12月開始）：不定期投稿、フォロワー4,928人
- ・ LINE（平成30年4月開始）：投稿2～3回／週、友だち24,484人

ターゲットに応じた 各種情報提供媒体



【背景】

若い世代から高齢者まで、あらゆる世代に情報を届けられるように、多様な媒体を駆使し情報を発信する必要がある。市民に必要な情報を届けることはもちろん、全国へ向けて発信することで、知名度・イメージの向上を図り、市のブランド力を磨くことが求められている。

担当課	企画政策部広報戦略課	課長	東 賢一
担当者	丸山 弥由	問合せ先	0957-53-4111（内線204）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	市政だより発行部数（年間）	部	410,000	403,500	403,500	403,500	403,500
②	Facebook投稿数	件	958	600	600	600	600

【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	市政だより配布部数（年間）	部	406,071	403,500	403,500	403,500	403,500
②	Facebook「いいね！」総数	件	25,419	70,000	70,000	70,000	70,000

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	34,425	32,234	41,718	43,161	43,161	43,161	237,860
国庫支出金	0	0	1,980	0	0	0	1,980
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,900	1,900	2,342	2,089	2,089	2,089	12,409
一般財源	32,525	30,334	37,396	41,072	41,072	41,072	223,471
人件費	18,148	15,752	13,172	13,172	13,172	13,172	86,587
職員(人)	2.20人	1.70人	1.55人	1.55人	1.55人	1.55人	10.10人
時間外勤務(h)	1075h	770h	950h	950h	950h	950h	5645h
会計年度任用職員(人)	0.00人	1.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	1.00人
フルコスト	52,573	47,986	54,890	56,333	56,333	56,333	324,447

妥当性 (市の関与)	市政に関する情報発信は、市が主体的に取り組む必要がある。
有効性 (施策貢献度)	市民の年代層に合わせた情報取得方法を考慮しながら、市政情報を取得できる環境を整備することは、開かれた市政の推進に大きな効果がある。
効率性 (コスト)	広報おおむらに民間事業者の有料広告を掲載するなど、印刷コストの縮減とあわせた歳入確保にも努めている。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	一次評価のとおり